

令和2年度 決算報告



人口：73,150 人
世帯数：31,460 世帯
(R3.6.30 時点)

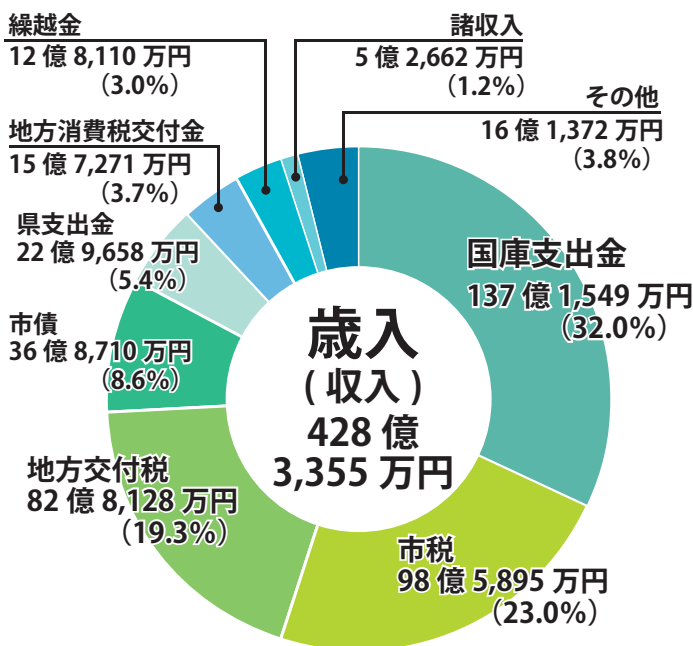
石岡市マスコットキャラクター
嗜みうさぎモモア (左)
満喫うさぎカイ (右)

令和2年度の決算報告 & 財政運営の健全度と
石岡市の財産と市債状況 (令和3年6月30日時点) についてお知らせします。
閩財政課 Tel 23-7293

一般会計

市の基本的な行政運営を行うための会計 ※ () 内は総額に占める割合
歳入・歳出予算総額：461 億 5,335 万円

歳入総額：428 億 3,355 万円



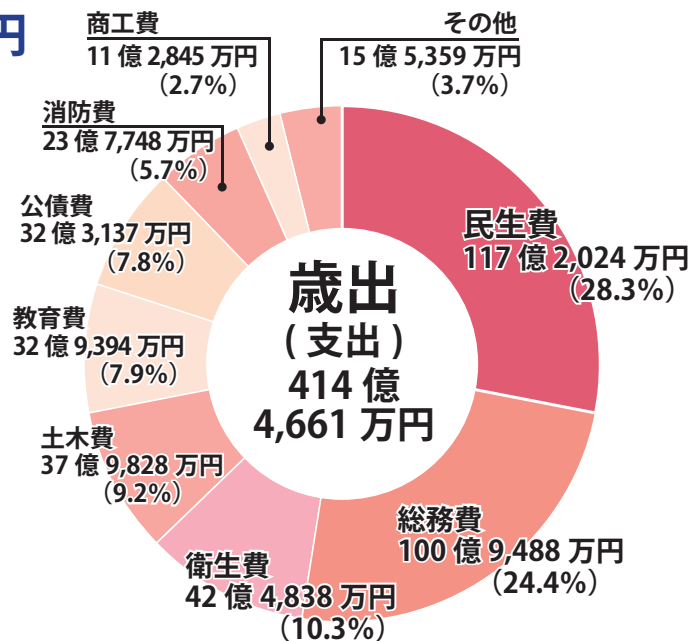
【用語の解説】

国庫支出金…市が行う特定の事業に対して国が支出するお金
市税…市に納められる税金
地方交付税…市の財政状況に応じて国から交付されるお金
市債…多額の費用が必要な場合などに行う市の借金
県支出金…市が行う特定の事業に対して県が支出するお金
地方消費税交付金…県から市に配分される消費税
繰越金…令和元年度から繰り越されたお金
諸収入…市の預金利子や雑入など
その他…国が国税として徴収し、市に譲与されるお金など

歳出総額：414 億 4,661 万円

【用語の解説】

民生費…高齢者や児童、障がい者の福祉推進に
総務費…特別定額給付金や庁舎管理、選挙などに
衛生費…医療や環境対策、ごみ処理などに
土木費…道路や公園、駅周辺施設の建設や維持管理などに
教育費…小中学校や図書館、文化振興などに
公債費…市債の返済に
消防費…消防や救急業務・防災対策に
商工費…商工や観光業の振興、観光施設の維持管理などに
その他…農業の振興や議会の運営などに



特別会計

市が特定の収入で運営する事業のために特別に設けられた会計

特別会計名 予算額	上段	収入済額 (収入率)
	下段	支出済額 (執行率)

〔会計別予算と執行額〕

国民健康保険	75億6,555万円 (94.9%)		
79億6,821万円	73億1,458万円 (91.8%)		
介護保険	71億9,935万円 (96.2%)		
74億8,076万円	69億4,146万円 (92.8%)		
後期高齢者医療	9億5,968万円 (98.2%)	駐車場	1,432万円 (95.5%)
9億7,679万円	9億5,756万円 (98.0%)	1,499万円	1,419万円 (94.7%)
介護サービス事業	2億8,142万円 (88.4%)	霊園事業	1,542万円 (109.1%)
3億1,820万円	2億8,142万円 (88.4%)	1,414万円	1,351万円 (95.5%)

企業会計

民間企業のように収益によって運営を行う会計

収益的収支…管理運営のためのお金
資本的収支…施設の整備・改修のためのお金

◆公共下水道事業

下水道施設の管理運営

収益的収支

収入：24億7,805万円	24億5,362万円 (99.0%)
支出：19億4,696万円	22億9,773万円 (118.0%)

資本的収支

収入：8億1,840万円	4億5,105万円 (55.1%)
支出：19億6,641万円	14億5,171万円 (73.8%)

◆農業集落排水事業

農業集落排水施設の管理運営

収益的収支

収入：4億5,978万円	4億5,596万円 (99.2%)
支出：3億4,679万円	3億5,506万円 (102.4%)

資本的収支

収入：1,571万円	1,526万円 (97.1%)
支出：1億9,387万円	1億9,132万円 (98.7%)

◆水道事業

八郷地区の水道施設の管理運営

収益的収支

収入：5億7,500万円	5億8,286万円 (101.4%)
支出：5億3,695万円	5億3,556万円 (99.7%)

資本的収支

収入：2億1,406万円	1億3,747万円 (64.2%)
支出：3億1,618万円	2億4,682万円 (78.1%)

令和2年度から公共下水道事業会計と農業集落排水事業会計は企業会計に移行しました！



令和2年度の石岡市の財政状況は…

健全な状態であると判断することができます。

平成19年に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布され、市の財政状況を4つの指標で表すことになりました。

令和2年度決算に基づく石岡市の指標は昨年度に引き続き、健全な状況を示す数値となりました。健全といえる理由については次のページをご覧ください↙



石岡市マスコットキャラクター
いしおか恋瀬姫

石岡市の財政状況は

どうして**健全**と言えるの？

■ 財政の健全化を判断する4つの指標（＝健全化判断比率）

早期健全化基準は、地方債の借入れが制限されたり、国から予算変更などの勧告を受けるレッドゾーン手前のイエローゾーンを指します。

指標	内容	結果	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし (マイナス 5.76%)	12.58%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし (マイナス 14.06%)	17.58%
実質公債費比率	市の標準的な年間収入に対する借金返済額の割合	7.8%	25.0%
将来負担比率	市の標準的な年間収入に対する将来負担が見込まれる負債（借金）の割合	33.3%	350%

健全化判断比率のミカタ



Point1：2つの赤字比率「なし」

普通会計の赤字額を示す「実質赤字比率」と特別会計を合わせた全会計の赤字額を示す「連結実質赤字比率」は、上表の通り、どちらもマイナスを示しています。よって、前年度に引き続き健全な状態であるといえます。

Point2：実質公債費比率が基準を超えていない

標準的な年間収入に対する借金返済額の割合を示す実質公債費比率は7.8%（上表参照）でした。言い換えると「石岡市の一般的な財源のうち7.8%を借入れの返済に充てた」ということです。これは、前年度の8.4%と比較して改善されています。

ここを Check：今後公債費は増える予想。楽観視はできない

実質公債費比率は早期健全化基準を下回りましたが、今後、上曾トンネル整備事業や公共施設の改修事業などにより、公債費が増加していくことが予想されます。また、人件費や扶助費など継続的に支出する経費も91.9%という高い割合を占めています。このような理由から、今回の数字は楽観視できるものではなく、引き続き経費の削減に向け努力が必要です。



▲上曾トンネル完成イメージ(石岡市上曾)

Point3：借入れ等の将来負担は一般財源の約0.3年分

長く使用する施設の整備費用は、世代間の費用負担の不平等をなくし、次の世代にも負担してもらうよう地方債を借りて事業を行っています。

将来負担比率とは「市が将来負担することが見込まれる借入れなどの総額」を「標準的な年間収入」で割り返した数値で、高いほど財政が圧迫されていることを意味します。令和2年度は、前年度と比較すると、地方債の現在高（企業会計含む）が減少したため4.1%減少し、33.3%でした。

令和3年度石岡市の

財産と市債

(6月30日現在)



◀愛郷橋出張所（三村）

石岡消防署愛郷橋出張所は、令和3年6月に、石岡市南部地域を守る防災拠点として、整備されました。

新庁舎では、ドクターヘリが離着陸可能となっており、日々市民の安心・安全な暮らしを守っています。

■市の財産

財産とは…

家計に例えると、貯金や持ち家のことをいいます。市にとって財産は、市役所庁舎・小中学校・公民館などです。

1年前と比較すると…

市が所有している資産を1年前と比較すると、土地面積は売却などにより529.32㎡減少しました。

建物面積については、石岡消防署愛郷橋出張所の完成により、479.3㎡増加しました。

また、基金については、国民健康保険支払準備基金の積立などにより、4億4,419万円増加しています。

土地	1,987,000.75㎡
建物	263,812.30㎡
基金	122億 1,664万円
有価証券・出資金など	4億 836万円

※基金

市の預金。各年度の財源を調整するための財政調整基金や、将来の大きな支出に備えて積み立てる特定目的基金など。

※有価証券・出資金

主に公営企業（水道事業会計）や、市と民間が共同で設立した事業体（第三セクターなど）へ出資したお金。

■市債残高

市債とは…

家計に例えると、住宅ローンなどの長期借入金のことをいいます。

主に道路の整備や学校の建設など大型施設を、建設・整備するときにご利用します。

これらの資産は多額の建設費用がかかりますが、数十年にわたり世代を超えて長く市民に利用されます。現在利用している市民だけでなく、次の世代にも公平に費用を負担してもらおう、という意味で借入れをし、長期間にわたり計画的に返済しています。

1年前と比較すると…

市債の残高を1年前と比較すると、3億3,682万円減少しています。

これは、公共下水道事業において、市債の発行が、減少したためです。

一般会計	299億 1,549万円
公共下水道事業	125億 4,720万円
農業集落排水事業	17億 934万円
介護サービス事業	905万円
水道事業	13億 1,725万円
合計	454億 9,833万円

市民1人当たりの資産・負債 (R3.6.30時点)

【資産】	
土地	27.16㎡
建物	3.61㎡
基金	16万 7,008円
有価証券・出資金など	5,583円
【負債】	
市債	62万 1,987円